

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第17号

2012年6月23日発行

編集・発行 総務担当理事部会

役員改選、佐藤宣践会長の4期目スタート

本年6月22日に開催されました定時総会・理事会におきまして、役員改選が行われ佐藤宣践会長以下新執行部が選任されました。なお、専門委員会も総務・教育・財務・競技の4委員会があらためて設置されました。(下記参照：組織図) 連盟運営の目的を達成するために、加盟校、会員各位の活発な議論を期待し、連盟活動は実践的な提案と行動の場となることを目指して参ります。

また、昨年度は公益法人制度改革に伴い一般社団への円滑な移行が行われ、学生柔道60周年の記念事業も盛大に行われ、本年度は例年にも増して充実した組織体制でのスタートとなります。佐藤会長の強いリーダーシップのもと、執行部は全力一丸となります。そして、学生柔道の将来ビジョンを会員各位と共有し学生柔道振興と発展に寄与して参ります。

財政基盤の安定化のために

厳しい経済環境は、本連盟の財務運営にも影響が懸念されます。言うまでもなく接続可能な財政基盤の確立は急務であります。佐藤会長の提唱により導入されたオフィシャルサポーター制度や、より拡充されたサポーター(賛助会員)制度が着実に展開され、連盟の財政運営は安定しております。これからは、地区学連・会員各位との情報共有と一層の連携をはかり、自立的な運営を期して長期的視野に立った行動を展

開していきます。

法人としての役割の遂行

昨年度は、60周年記念事業を柱に記念大会や主催する二大会を始め、審判講習会(1回)・学生柔道に関する助成・海外研修・教養講座などを実施しました。また、東日本大震災復興支援事業として多くの皆様にご協力をいただきました。これからは支援の輪を広げて参りたいと思います。

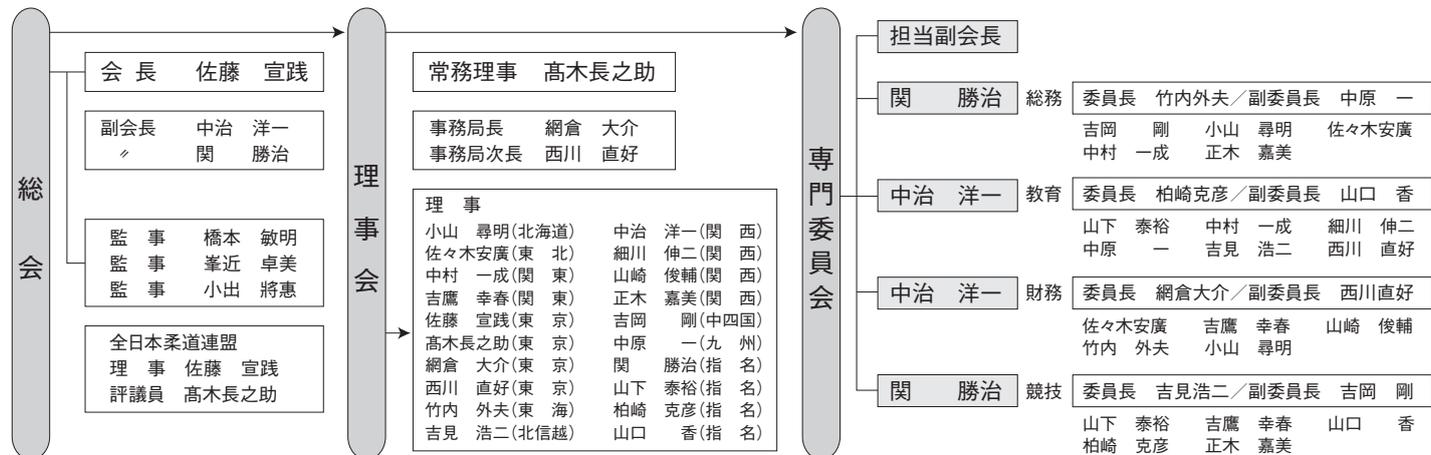
本年度におきましても、例年通りの事業を展開いたします。大会事業としては、先般開催されました全日本学生柔道優勝大会をはじめ、主要三大会を開催いたします。また、例年関心を寄せていただいている教養講座も実施し、国際社会で活躍出来るグローバルな人材を育成するために海外研修もより充実させ計画して参ります。さらに法人移行に伴う諸制度整備も着手し実施して参ります。

運営方針の継続

これまでと同様、運営指針を定め、IT化、事務の効率化を図ります。さらに地区学連との連絡調整や、会員との双方向での情報交換の充実を一層進展させます。また、事業別の仕分けも定期的実施し、不断の経費節減をはかり、連盟の健全運営に努めます。

常務理事 高木長之助

一般社団法人全日本学生柔道連盟組織図(2012-2013)



正会員数(地区学生柔道連盟別・2012年6月23日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海	北信越	関西	中国四国	九州	合計
21	27	44	50	33	19	55	30	35	314

【北海道】

冒頭から寂しい話題から入るのは心苦しい限りですが、専修大学北海道短期大学柔道部が昨年11月26日の北海道学生柔道新人大会を最後に廃部となりました。大学そのものの廃校に伴うものではありませんが、自身北大監督時代に全国大会の出場をかけ何度かしのぎを削った相手なのでとても残念です。工藤先生、長年のご指導ご苦労様でした。

これに伴い、任期途中ではありますが、工藤先生が当連盟理事長を退かれることになり、後任に道都大学を指導されてきた小山副理事長が就かれることになりました。

平成23年度の当連盟への加盟状況は、北海道東海大学・北海道文教大学・釧路短期大学・北翔大学が退会したため21大学でした。登録部員数も減少傾向に歯止めをかけられず、昨年度の312名から276名に減少しました。ただ、北翔大学が再加盟、名寄市立短期大学部が加盟の可能性ありとの明るい情報もあります。小山新理事長のもとその流れを掴んで行ければ、と考えています。

当連盟では、今年度も例年通り下記の4つの大会を予定しています。5月26日に全国大会の予選を兼ねて全道優勝大会、同じく全国大会の予選を兼ねて9月1日に全道体重別選手権大会、翌2日に全道体重別団体優勝大会、そして、11月26日の新人戦・女子階級別選手権です。

最後に、平成24年度北海道学生柔道連盟役員は以下の通りです。

会 長	岩崎 満
副 会 長	畠中 金雄・丸山 淳士・吉田 博一
理 事 長	小山 尋明
副理事長	岩井 眞・安達 昭弘
事務局長	岩井 眞

北海道学生柔道連盟 事務局長 岩井 眞

【東北】

昨年の3・11東日本大震災により多くのものを失ったが、国内外からのご支援により少しずつではあるが復興への兆しが見えつつある。また、全日本学生柔道連盟佐藤会長のお気遣いにより頂戴した本学連への義援金は東北学生体重別選手権大会開会式の際に遠藤純男東北学連会長から被災の大きかった岩手、宮城、福島の3県内の各大学代表者に手渡された。復興にはまだまだ時間がかかることは否めない現況にあるが、がんばろう東北！を合言葉に歩んでいるところである。

1. 東北学連役員の改選

平成24・25年度の主な役員は以下のとおり。

顧 問	佐々木武人・前東北学連会長
会 長	遠藤 純男・ノースアジア大学
副 会 長	高橋富士男・東北学院大学
副 会 長	村本 光二・東北大学
理 事 長	佐々木安廣・富士大学
副 理 事 長	三戸 範之・秋田大学
副 理 事 長	高橋 俊也・弘前大学
監 事	大関 貴久・東日本国際大学
監 事	南條 充寿・仙台大学
事 務 局 長	仲田 直樹・仙台大学
学生委員長	山本 彩・仙台大学

※今年度から事務局が東北学院大学から仙台大学に移転。

2. 大会出場と学業単位取得制限について

今年度の東北学生優勝大会から出場選手にある一定の単位を取得していないと出場させないことを東北学連常任理事会において決定し、今年度の大会要項に明記した。

このことについては遠藤会長からも発信されていたことであるが、学業を軽視した学生生活により留年や退学をする柔道部員がいないわけでもない現状を受けてのことであり、東北学連が先駆けて実施しようとしての試みである。今年度から2ヵ年の試行期間としたが、学生はもちろんのこと取得単位証明書を提出する指導者にとっても刺激なことではある。このことが学生諸君の意識改革に繋がることに期待をしたい。

2. 今年度の大会予定

①東北学生柔道優勝大会

5月20日（日）秋田県立武道館

②東北学生柔道体重別選手権大会

9月1日（土）岩手県営武道館

③東北学生柔道体重別団体優勝大会

9月2日（日）岩手県営武道館

東北学生柔道連盟 副会長 高橋富士男

【関東】

平成24年度に向けて

本年2月に行われた平成23年度関東学生柔道連盟総会において、役員改選が行われ、小俣幸嗣先生を会長に迎え新体制が整えられた。

会長：(新)小俣幸嗣(筑波大学)、副会長：柏崎克彦(国際武道大学)、(新)木村仁(神奈川大学)、野瀬清喜(埼玉大学)、理事長：西田孝宏(山梨学院大学)、副理事長：中村一成(防衛大学校)、吉鷹幸春(桐蔭横浜大学)、理事：木村昌彦(横浜国立大学)、越野忠則(国際武道大学)、岩崎卓(流通経済大学)、岡田弘隆(筑波大)、矢崎利加(国際武道大学)、廣川充志(桐蔭横浜大学)、(新)三宅仁(平成国際大学)、(新)小山勝弘(山梨大学)、(新)増地千代里(筑波大学) 監事：小川正行(群馬大学)、(新)高橋進(関東学園大学)、事務局長：(新)増地克之(筑波大学)、事務局次長：山部伸敏(山梨学院大)。本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて、平成24年度の本連盟の主な事業計画は、5月27日関東学生柔道優勝大会、同女子大会、9月1、2日関東学生柔道体重別選手権大会、同女子大会の競技会の開催、年1回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。

昨年度は本連盟独自の海外研修の一環として、香港国際大会へ関東学生柔道連盟から11名の選手を派遣し、金メダル3個・銀メダル1個・銅メダル1個を獲得することができた。この好成績をステップとして参加選手には更なる飛躍を期待する。

また、昨年はパリで世界選手権が開催され、本連盟に在籍している90kg級の西山大希選手(筑波大学)、78kg級の緒方亜香里選手(筑波大学)が銀メダルを獲得した。

さらに、本年はロンドンオリンピックの開催の年である。本連盟に在籍している選手には、一人でも多く代表権を勝ち取り、日本代表として日本国民に感動と勇気を与えるような素晴らしい柔道を期待したい。

関東学生柔道連盟 事務局長 増地 克之

【東京】

役員改選、新たなスタート

本年3月に開催されました評議員会におきまして、役員改選が行われ高木長之助会長が再任されました。また、新に山下泰裕副会長が就任し、執行部も留任となりました。新役員につきましては以下の通りです。高木会長は就任に当たり、昨年の学生柔道連盟60周年の諸事業が多くのお学連関係者の尽力により成功を収めたことに感謝を述べられました。また、東日本大震災で被災された多くの方々への哀悼とお見舞いの念を述べられ、今一度、連盟創立時の精神に立ち返り、先人のご労苦に感謝し、私達があらめて柔道ができる喜びを感じ、日々一層の精進をすることを呼びかけられました。

運営面では、高木会長が就任時より、『佐藤前会長の運営方針を継続しつつ、身の丈にあった連盟運営を心がけ、健全な運営をしていきたい』との考えから、本年におきましても「運営ガイドライン」を策定し、その実をあげるために、執行体制の充実をすすめております。「自主財源ベースの運営」を大きな目標として、具体的には、固定費の節減策として事業仕分けを行い、併せてIT化の推進を図り、実をあげております。さらに事務の効率化を図るためにメールによる事務連絡の徹底、大会申し込みのデータ化の完全実施等多くのことに取り組みました。

また、財源確保のために佐藤前会長が提唱された「Come Back 柔道」の一環として「連盟サポーター制度(賛助会員制度)」も定着し、試合会場サポーター専用シートの設置やティールーム設置は、大変好評をいただいております。今後も学生柔道のOBの皆様が多く集うことのできる場所や機会の提供を進化させていきたいと考えております。

学生柔道の普及事業として、今年度で7年目を迎える「柔道出前講座」は、講師としてメダリストの斉藤仁先生にご指導いただき、例年にも増して、多数の参加者を迎え、盛況のうちに終了しました。教育事業として、学生が社会貢献・奉仕の心を養うために、本年も全日本視覚障害者柔道大会の運営協力を行い、国際感覚を養うために海外研修も実施いたしました。広く学生柔道を知っていただくために、主要事業であります各大会の様態を配信する、大会WEB配信を実施し好評を得ています。いまだ問題となっている皮膚真菌症(トルコフィトン・トングランス)対策にも積極的に対処しております。具体的には、当連盟加盟学生全員を対象とした皮膚真菌症検査を実施し、研修会を設けて、治療を徹底するというものです。また、加盟校全学生を対象としたアンケート調査を実施し、今後の事業計

画の基礎資料にしていく考えです。

本年度も社会に有為な人材を輩出することを目的として、教育普及事業を充実させ、学生役員を中心とした運営を心がけ、加盟校の意見を出来得る限り反映させることにより、開かれた連盟運営を行っていきたいと考えていますので、各地区連盟並びに関係各位のご協力をお願いいたします。

新役員（任期は規約により2年）

会 長	高木長之助		
副 会 長	関 勝治	小山 泰文	
	大八木 論	山下 泰裕	
	網倉 大介		
理 事 長	網倉 大介		
副 理 事 長	西川 直好	島村 昌利	
監 事	橋本 敏明	藤根 崇雄	
事 務 局 長	島村 昌利		
総務事業委員長	西川 直好		
財務委員長	島村 昌利		
普及委員長（審判担当）	白瀬 英春		
普及副委員長（強化担当）	廣瀬 伸良		
普及副委員長	佐藤伸一郎		
学生委員長	寺井 僚祐		
学生副委員長	佐々木啓介		

東京学生柔道連盟 理事長 網倉大介

学生委員より

私達、東京学生柔道連盟学生委員は四年生2名・三年生4名・二年生1名の7名によって平成24年度の体制をスタートすることとなりました。

昨年度は、全日本学生柔道優勝大会が第60回という節目の年にあたり、オープン参加で開催し多くの学生が全国各地より参加し、運営面でも国内最大級の大会運営に携わる事ができ、とても良い経験になりました。

本年度も個々の学生委員が自らの力を発揮し、自らの仕事に責任を持つことで、所期の目標を達成したいと考えております。

柔道を支える二大指針として「精力善用」・「自他共栄」が示されております。いうまでもなく、この2つの指針は柔道に励む者にのみ当てはめられるものではありません。柔道は、この2つの指針を意図的に明示することで具体的な実現を促すという教育的側面を保持しています。

東京学生柔道連盟の活動が柔道を通じた教育の実践およ

び創造の機会として位置づけられ、公益をもって私達学生委員の成果とできるよう活動していきます。

今年は英国においてオリンピックが開催され、柔道競技はもちろん、スポーツ界全体が盛り上がると思います。仲間である学生も選手として多くの競技で出場するのは是非、頑張っていたきたいと思います。本年度も各地区連盟並びに諸先生方、ご支援いただいております関係各位のご指導をお願いいたします。

東京学生柔道連盟

平成24年度学生委員長 寺井僚佑（拓殖大学4年）

【東海】

東海学連は竹内新理事長のもと順調に事が運んでいきます。東海学生柔道連盟は60周年を迎え、実行委員会を立ち上げ企画検討するはこびとなった。戦力分布は全国大会では名城大学が女子優勝大会3人制で7回目の3位入賞を果たしたが続く戦果を得ることができない。更なる関係者による強化策が急務である。

柔道の練習と試合事故について「正しい柔道に怪我はない」を玉条とした万全の対策が望まれる。シルバーOB会（TOY会）も6回を迎え、観戦・ミニ講演等で親交を深めています。

1. 役員紹介

会 長	長谷川 優
副 会 長	金子 修巳（中部大学教授）
	関 巖（名城大学教授）
理 事 長	竹内 外夫（中京大学教授）
副 理 事 長	福井 博泰（名城大学職員）
	久野 高裕（愛知大学職員）
学生委員長	桐山 晃史（中京大学）
学生副委員長	岡本 達弥（名城大学）

2. 行事予定

5月20日（月）

第59回 東海学生柔道夏季優勝大会

第19回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月28日（火）

第31回 東海学生柔道体重別選手権大会

第29回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

9月15日（土）

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

（男14回・女4回）東海選考会

11月18日 (日)

第60回 東海学生柔道冬季優勝大会

11月24日 (土)

第5回 東海学生女子柔道冬季優勝大会

3. 大会戦績

第58回 東海学生柔道夏季優勝大会

一部愛知学院大学 二部中部大学

第18回 東海学生女子柔道優勝大会

5人制朝日大学 3人制名城大学

第59回 東海学生柔道冬季優勝大会 名城大学

第4回 東海学生柔道冬季優勝大会 名城大学

4. 学生委員長

私が東海学連の運営事務を初めて目のあたりにし、いつも当たり前のように試合に出場していたが、大会の運営の大変さを理解することができました。パンフレット作り、審判員依頼すること等、選手では絶対に気がつかないことで、どの仕事も私がお世話になった試合に繋がっていることでやり易くもあり楽しく対応できています。まだまだ未熟ですが、今の立場で体験できる力を社会で役に立つよう頑張ります。

学生委員長 桐山晃史

東海学生柔道連盟 会長 長谷川優

【北信越】

北信越学生柔道連盟は、現在、20の大学・高等専門学校から構成されています。近年、多くの大学で部員確保が困難な状況で、大会参加はもとより日常の練習にも支障を来すところもあります。当連盟では柔道の強化だけでなく普及、練習環境の確保なども含めて夏・春の強化練習会なども企画しています。さらに、湊谷杯の運営などを通じて大会参加の機会増えるよう工夫しています。

多くの先生方のご協力を得て企画しました第8回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会には、北は東北地区から南は九州地区までの35大学、400名を越す学生が出場し、盛大に行われました。この大会は無段の部など参加者のレベルに合わせた試合も設定し、また、審判法・技術などの習得と審判試験も実施しています。全国から多くの学生の参加をお待ちしています。

特に今年度は女子では試合後の練習会を設定しています。日頃練習することがほとんどない他の地区の学生との強化練習を通して競技レベルの向上を図ると共に、お互いの親睦を深めることを目的とした合宿です。

※強化合同練習会参加などの問い合わせ先につきましては下記の担当者を通してお申し込み下さい。

男子担当：渡辺直勇 金沢学院大学 076-229-8843

鈴木貴士 金沢工業大学 076-248-9926

女子担当：吉見浩二 高岡法科大学 0766-63-3388

渡辺涼子 金沢学院大学 076-229-8867

【事業予定】

5月19日 北信越学生柔道連盟役員総会

5月20日 北信越学生柔道優勝大会(男子61回女子21回)

8月7～11日

北信越学生柔道連盟夏季合同練習会(女子)

8月15～19日

北信越学生柔道連盟夏季合同練習会(男子)

9月1日 北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会

(男子31回 女子24回)

9月2日 第14回北信越学生柔道体重別団体優勝大会

11月23、24日

第9回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会

11月24、25日

女子強化練習会(金沢学院大・白山市武道館)

2月23日 北信越学生柔道連盟常任理事会

3月4～8日

北信越学生柔道連盟春季強化合同合宿(男子)

・審判講習

3月25～27日

北信越学生柔道連盟春季強化合同合宿(女子)

※詳細連絡先

高岡法科大学内 北信越学生柔道連盟事務局

TEL (代表) 0766-63-3388

mail : yoshimi@takaoka.ac.jp

【関西】

1. 平成24年度関西学生柔道連盟行事予定
 - 5月27日（日）
 - 第62回 関西学生柔道優勝大会
 - 第20回 関西学生女子柔道優勝大会
(バイコム総合体育館〔尼崎市記念公園〕)
 - 9月2日（日）
 - 第31回 関西学生柔道体重別選手権大会
 - 第24回 関西学生女子柔道体重別選手権大会
(天理大学杣之内第一体育館)
 - 10月27日（土）・28日（日）
 - 全日本学生柔道体重別団体優勝大会
(男子14回・女子4回)
(バイコム総合体育館〔尼崎市記念公園〕)
2. 本年度の抱負

今年度は役員改選を行い、佐野修弘新会長を始めとして当連盟ひいては柔道界のますますの発展のために頑張ってお参ります。

今年度から関西学生柔道連盟においても全日本学生柔道連盟と同様にホームページを作成。さらには、各大会の申し込み方法をweb申し込みにするなどより一層皆様方に分かりやすくかつ迅速な運営を目指し、努力を続けています。

しかしながら、当連盟は現在、学生幹事が減少しており、大会運営が困難な状況になっています。一人でも多くの学生が当連盟に興味を持ち、協力してもらえよう、より一層の努力を行い、当連盟の未来を担う学生幹事を育てていきたいと考えています。そして、関西学生柔道界を盛り上げていきたいと考えています。

最後に、当連盟はこれからも円滑な大会運営をしたいと考えています。大会を運営するにあたっては、我々学生だけでなく、役員の方やその他様々な方々の多大な協力を頂いております。この場をお借りして感謝申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。
3. 役員紹介

名誉会長	古谷	七五三	次	氏
会長	佐野	修弘		氏
副会長	山岸	久一		氏
	近藤	徹		氏
	中治	洋一		氏
理事長	細川	伸二		氏
4. 加盟校

現在55校が加盟しております。

【中国四国】

- 本連盟は、平成24年2月18日に常任委員会を開催し、平成24年度の行事などが決定されました。
- (平成24年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定)
- 4月8日（日）
 - 中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（岡山商科大学）
 - 5月19日（土）～20日（日）
 - 中国四国学生柔道連盟 理事会・総会
 - 中国四国学生柔道優勝大会
 - 中国四国学生女子柔道優勝大会（岡山県立武道館）
 - 6月30日（土）
 - 中国四国学生柔道連盟 定例幹事会（徳山大学）
 - 8月25日（土）～26日（日）
 - 中国四国学生柔道体重別選手権大会
 - 中国四国学生女子柔道体重別選手権大会
 - 中国四国学生柔道体重別団体優勝大会
(周南市総合スポーツセンター)
 - 9月上旬・2月下旬
 - 中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿
- 2011年度は、本連盟主催で春季強化合宿を実施しました。今回は合宿を担当された2名の先生にインタビューしました。
- 徳山大学 高口誠次郎先生（男子担当）
「今年の連盟合同強化合宿は、中四国地区から九州に脚を延ばしての実施としました。福岡大学を中心にご協力を頂いた九州の大学の皆さんには、心より感謝致します。この度の目的の中には、学生間の競技力向上だけでなく、指導者を含めた広い範囲での交流を考えました。これを機会に多くの学連との交流を深め今後の自分を見付ける時間にして行きたいと思います。」
- 【日程：平成24年3月5日（月）～7日（水）】
場所：福岡大学柔道場】
- 徳山大学 近藤 優子先生（女子担当）
「環太平洋大の2年連続の団体日本一という快挙を喜ぶ一方で、中四国学生柔道連盟のレベルがどんどん上がり個人戦では環太平洋以外の大学が全国大会に出場する難しさに直面している。しかし、全国のレベルを地方大会で感じ、全国大会の切符を手に入れ出場した時の堂々たる姿は、やはり中四国学生柔道の発展を物語っているのではないだろうか。そして、その発展の裏には毎年開催されている春季強化合宿などライバル関係を越えた中四国学生柔道連盟の強化体制にあると思われる。また今年度は中四国の

みならず関西の雄、天理大学にも参加していただき、より充実した合宿となった。今後、さらなる飛躍をめざし一人でも多くの日本一を出せるよう強化体制のレベルアップを図りたい。」

【日程：平成24年2月24日（金）～2月26日（日）】

場所：徳山大学柔道場】



(女子合宿風景)

このように、中国四国学生柔道連盟では、出場選手の強化および地区全体のレベルアップを目的に頑張っております。みなさまもご存知のとおり、昨年度は、環太平洋大学が全日本学生柔道女子体重別団体優勝大会で2連覇を果たすなど、輝かしい成績を残すことができました。

今年度も、中国四国学生柔道連盟（加盟校30校）一丸となって頑張っておりまいますので、よろしくお願ひいたします。

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

【九州】

平成24年度総会を5月19日に開催し、議題は全てご承認いただき可決決定いたしました。

九州学生柔道優勝大会を5月19・20日に福岡武道館において開催し、男子21校（221名）・女子7校（45名）が参加して熱戦が繰りひろげられました。結果は次の通りです。男子 1部優勝 福岡大（18年連続39回目）・2部優勝 宮崎産業経営大（2年ぶり2回目）。女子5人制優勝 九州看護福祉大学（2連続2回目）・3人制優勝 鹿屋体育大学（2年連続4回目）。6月に開催されます全国大会に九州からは、男子6校（福岡大・鹿屋体育大・日本文理大・日本経済大・熊本大・福岡教育大）、女子5人制3校（九州看護福祉大・福岡大・九州共立大）、3人制（鹿屋体育大・福岡工業大・別府大）が出場致します。

選手諸君の健闘を祈ります。

※役員及び24年度の九州地区の行事は次の通りです。

会 長	藤田 弘明
副 会 長	筑紫 仁、園田 勇
理 事 長	中原 一
副理事長	安河内春彦
事務局長	野田 修

5月19日（土）平成24年度定例総会

5月19日（土）第61回九州学生柔道優勝大会 2部

5月21日（日）第61回九州学生柔道優勝大会 1部

第21回九州学生女子柔道優勝大会

9月1日（土）第26回九州学生女子柔道体重別選手権大会

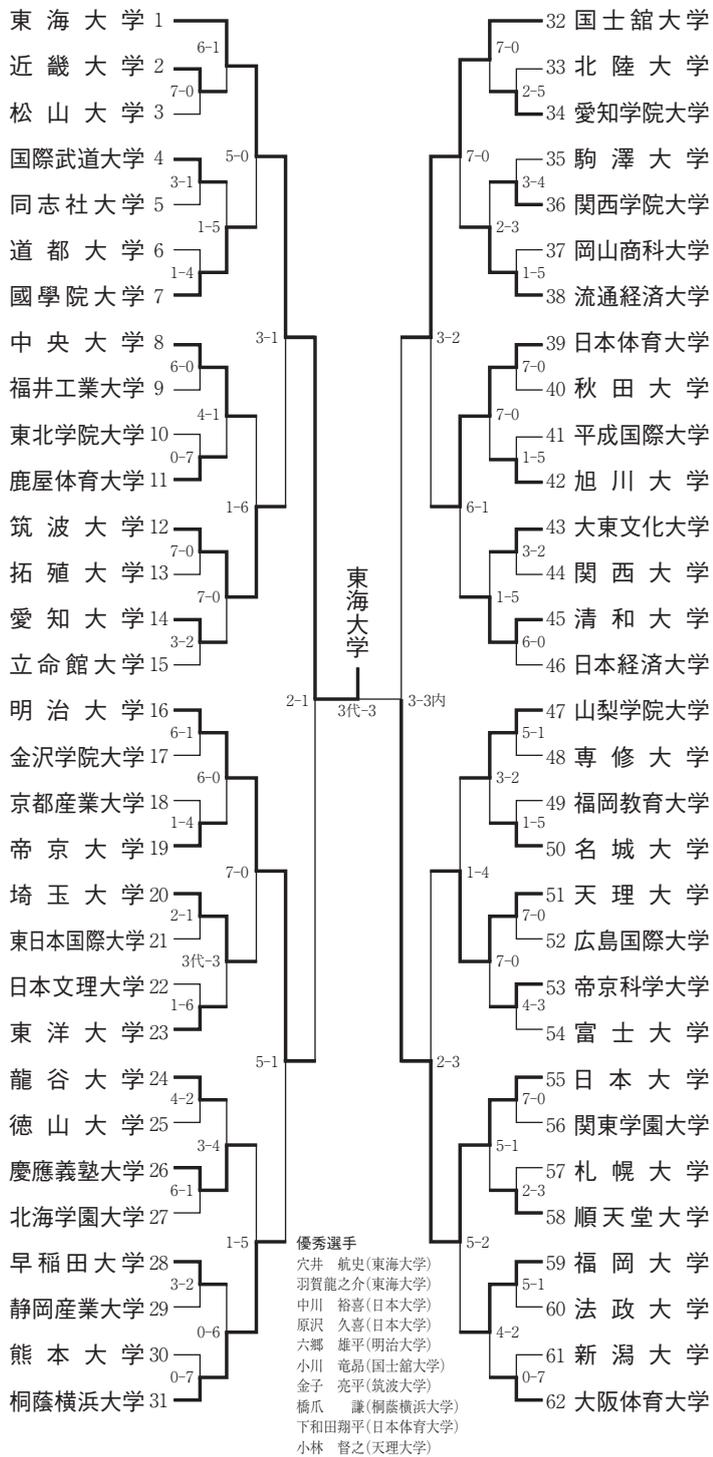
9月1日（土）・2（日）

第56回九州学生柔道体重別選手権大会

平成24年度全日本学生柔道優勝大会(男子61回 女子21回)

— 6月23・24日 開催 —

男子団体対戦表



女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp